

## 第6章 総括

外観からの目視点検では検出が困難である鋼床版のデッキプレートとトラフリブの縦溶接部に生じるデッキプレート貫通型き裂の調査を行うにあたっては、膨大な数の鋼床版橋梁および溶接線に対してよりき裂発生の可能性の高いものから効率的にできるだけ確実性の高い調査を行って対象を絞り込むことが重要である。

本共同研究では、様々な構造や架橋条件などの特徴、実態調査から類推された疲労環境の厳しさの程度についての知見、現在までに確立している各種探傷手法のデッキプレート貫通型き裂の検出に特化した場合の一般的でかつ信頼性が期待できる活用方法などの観点から、デッキプレート貫通型き裂検出のための合理的な調査方法について検討した。その結果、段階的に調査対象を絞り込みつつ、より直接的な探傷手法を適用していく調査手順の案をとりまとめた。